

記憶に残る、織と美。

おかげさまで、川島織物セルコンは、2023年2月に創業180周年を迎えます

株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：木村弘一）は、2023年2月に創業180周年を迎えます。私たちは、創業以来、お客様に感動と満足をいただける商品をお届けしたいとの思いで、モノづくりに取りに組んできました。この180周年は、多くの方に支えられた大きな節目であり、新たなスタートでもあります。私たちは、これまで支えていただいたお客様をはじめ全てのステークホルダーに感謝するとともに、これまでの歩みを振り返り、積み重ねてきた技と感性により磨きをかけ、創業200年、ひいては300年へ向け、新たに「記憶に残る、織と美。」を探求し続けてまいります。

■ 180周年によせて、私たちの誓い

記憶に残る、織と美。

1843年、川島織物セルコンは京都で誕生しました。

東に向かい糸を求め、西へ訪ね色を学び、
海を渡って技法を知り、素材・色・組み方を考察し、
経糸と緯糸の探求を続けました。
全ては織と美のため。

愛着を持つての美
年月を経た美
使って変化した美
変わらない美
生まれ持つての美

喜びの時、怒りの時、哀しみの時、楽しみの時、
人には、様々な時があります。
その時々々に美で寄り添いたい。

おかげをもちまして180年。
私たちの探求は、続きます。
これまでも、これからも。

■ 180周年ロゴ



デザイン関係に従事する従業員より募集し決定しました。
糸が重なって織物になるイメージで構成し、当社の歴史や商品、またそれに
関わる人が調和することで美しい形になっていきたいという思いを込めています。
180周年企画の象徴として私たちの誓いと共に使用していきます。

■ 180 周年スペシャルサイト

180 年間にわたり探求し続けてきた、そしてこれから探求を続けていく「記憶に残る、織と美。」について、発信していきます。

2月26日公開予定

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/180th/>

■ 180 周年企画

・川島織物文化館特別展示

第1弾 2023年2月24日～2024年2月2日

澤部清五郎生誕140年記念 川島と歩む綴織壁掛

第2弾 2023年6月下旬～2024年5月下旬

(仮称) 大舞台を彩る綴帳

第3弾 2023年9月下旬～2024年8月下旬

(仮称) ありがとう・そして未来へ

・スペシャルムービーの公開 (4月初旬公開予定)

その他決定次第、Webサイトでお知らせします。

■ 川島織物セルコン

江戸末期の天保14(1843)年創業の京都の織物メーカー。

呉服悉皆業からスタートし、明治期に室内装飾織物(インテリア業)にも進出。古くは明治宮殿、近年では京都迎賓館や数々のラグジュアリーホテルに織物を納入するなど、その唯一無二の品質が高く評価されている。

分業で行われることが多い織物の工程の多くを社内に有し、熟練の職人による伝統的な手織り技術と、現代の機械生産の技術の双方を用い、文化の継承と未来へつながる技術革新に力を注ぎ、帯・綴帳・祭礼幕などの伝統的な織物から、カーテン・カーペット・インテリア小物までをトータルに手掛ける。

京都の本社には、織物の製造工場をはじめ、歴史的価値の高い作品を所蔵・展示する「川島織物文化館」や、織物を学んでいただく「川島テキスタイルスクール」を併設。織物文化の継承と発展、発信に努めている。



【公式アカウント】

Web サイト	https://www.kawashimaselkon.co.jp/
YouTube	https://www.youtube.com/@kawashima1843
フェイスブック	https://www.facebook.com/kawashima1843
インスタグラム	https://www.instagram.com/kawashimaselkon_official/